



(タイトル作成：わかかな) 宮古島市北小学校 2025.1.16

こんげつ としよもくひょうひょう がくしゅう やくだ ほん よ 今月の図書目標：学習に役立つ本を読もう

あけましておめでとうございます。年が明け、3学期がスタートしてもう2週間が経とうとしています♦
「今年は、どんな年にしようか?」「どんなことにチャレンジしてみようか?」など、いろんなことを考えてワクワクしていると思います♪ 3学期も、本をたくさん借りて、いろんな世界や考え方に出会ってみましょう。

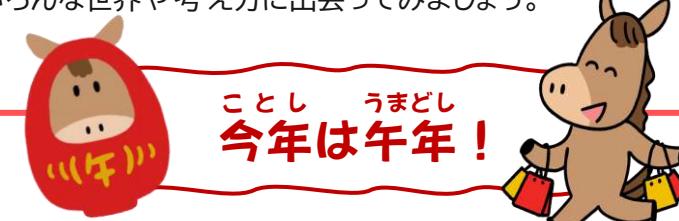
しょうがつ いちがついついたち お正月 (1月1日)

お正月は、年神さまを家におむかえして、新しい年にお米や野菜がたくさんとれてみんなが平和に過ごせますようにとお願いする行事です。

むかしの人は、「亡くなった人の魂は、山にいき、山の神さまになる」と考えています。その山の神さまが、お正月になると年神さまとして、家族のもとおりてきて、幸せやちからをくれると信じられていたのです。お年玉も、ただのお金ではなく、年神さまから「元気に生きるちから」をもらうという意味があり、それが「年魂(としだま)」とよばれ、今のお年玉になったといわれています。



ことし うまどし 今年は午年！



馬は元氣いっぱいで前向きなイメージです。「午前・午後」の「午」の字は、正午(お昼の12時ごろ)を表し、馬が十二支の真ん中(7番目)で、時間が「真昼」という関係があるのです。

また、神社にある「絵馬」は、むかし馬が神様のお手伝いをする動物だと考えられていたことから生まれました。人びとは、ねがいごとを馬にのせて神様に届けてもらうと思っていたのです。今でもお正月にたくさんの人が神社で絵馬にねがいをかけてかけています♦



きたしょうとしょかんじんじや

北小図書館神社でレッツおみくじ♪



新年のスタートに、図書館前に「北小神社」が登場しました♪
おみくじには、それぞれの一年への願いがこめられています。そして、そのおみくじを結ぶことで、神さまとご縁を結び、うれしいことも、気をつけたいことも、新しい一年へとつなげていくという意味があります。
今年も図書館でたくさんの「すき」や「発見」に出会えますように! ♥

◆◆◆ 1 がつのおすすめ本 ◆◆◆

じゅうにし
十二支のはじまり 岩崎京子・さく

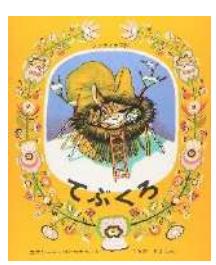
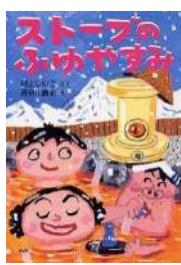


じゅうにし
十二支は知っているけれど、動物たちが
どのように選ばれたのか知っています
か？ねことねずみの仲が悪い理由を知
っていますか？この本を読めば十二支
のはじまりが分かっちゃいます♪

じゅうにし
十二支のことわざ 高畠純・さく



「馬の耳に念仏」「尻馬に乗れば落ち
る」ということわざを知っています
か？この本は、十二支の動物たちがで
てくることわざがたくさんあります。ぜひ、意味を調べてみてくださいね



あたら ほん 新しい本のおしらせ

